

地域振興県土警察常任委員会資料

(平成28年6月16日)

- 1 リオデジャネイロオリンピック日本代表に決定した本県出身選手について
【スポーツ課】・・・1ページ
- 2 バードスタジアム国際交流基金の取崩しについて
【スポーツ課】・・・3ページ

地 域 振 興 部



リオデジャネイロオリンピック日本代表に決定した本県出身選手について

平成28年6月16日
スポーツ課

6月7日に日本オリンピック委員会理事会で、リオデジャネイロオリンピック日本代表選手に本県出身の3選手が正式決定しましたので、報告いたします。

1 本県出身選手

競技名	選手名	出身地	出身校	所属
アーチェリー	かわなか かおり 川中 香緒里	琴浦町	米子南高・近畿大	ミキハウス
ボート	とみた ちあき 富田 千愛	米子市	米子東高・明治大	明治大学大学院 (こうほうえん)
ホッケー	さかぐち まき 阪口 真紀	鳥取市	八頭高・立命館大	ソニーHC BRAVIA Ladies

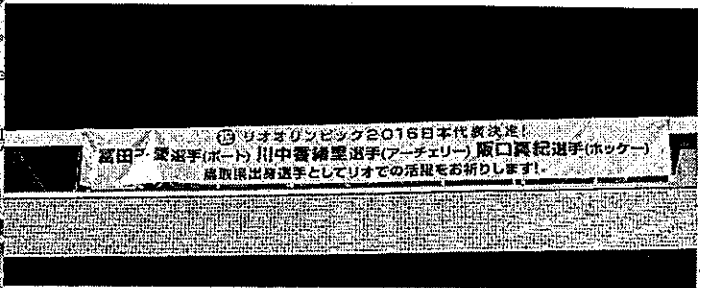
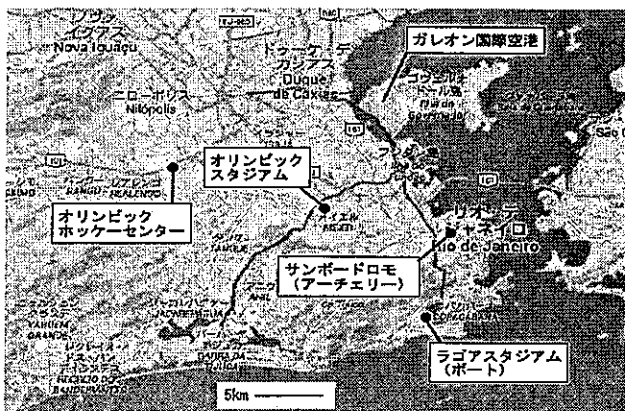
※川中選手は、前回ロンドン大会（銅メダル獲得）に続き2度目のオリンピック出場。

※富田選手は、県出身選手としては、1968年メキシコ大会以来48年ぶり、女子では初の出場

※阪口選手は、県出身選手としては、前回ロンドン大会の佐藤雅子選手に続き2人目のオリンピック出場

2 競技日程・会場

競技名	日程	会場
アーチェリー	8月6日～8月12日	サンボードロモ（マラカナン地区）
ボート	8月6日～8月12日	ラゴアスタジアム（ロドリゴ・デ・フレイタス湖）
ホッケー	8月6日～8月19日	オリンピックホッケーセンター（デオドーロ地区）



3 3選手の主なスケジュール（予定）

期日	川中選手	富田選手	阪口選手
6月7日	正式決定	正式決定	正式決定
6月9日	横断幕掲出	横断幕掲出	横断幕掲出
6月14日			日本協会主催記者会見
6月28日	県内壮行会・知事面談		
7月3日	JOC主催応援イベント	JOC主催応援イベント	JOC主催応援イベント
7月26日	出国	出国	出国
8月6日	競技開始	競技開始	競技開始

川中 香緒里 (かわなか かおり) 選手

生年月日 1991年8月3日 (24歳)

出身 琴浦町

経歴 以西小学校-赤崎中学校-県立米子南高校-近畿大学-ミキハウス

成績 2009年 世界ユース選手権国内最終予選優勝※ジュニアナショナルチームメンバー選出
 全国高校総体アーチェリー競技 団体優勝
 国民体育大会 少年女子 個人優勝

2010年 世界学生選手権大会 個人9位・団体3位
 アジア競技大会 団体5位

2011年 世界選手権 (イタリア・トリノ) 出場

2012年 ワールドカップオグデン大会 団体3位
 ロンドン五輪 団体 銅メダル ※県民栄誉賞

2013年 世界選手権大会 団体3位

2014年 アジアグランプリ 個人優勝・団体優勝
 仁川アジア競技大会 団体銅メダル ※県スポーツ顕彰

2015年 世界選手権 (デンマーク・コペンハーゲン) 団体4位
 ※リオデジャネイロ五輪の出場枠獲得 (日本代表選手に内定)

阪口 真紀 (さかくち まき) 選手

生年月日 1989年6月8日 (27歳)

出身 鳥取市

経歴 鳥取市立浜坂小学校-鳥取市立中ノ郷中学校-八頭高等学校-立命館大学-ソニーHC BRAVIA Ladies (岐阜県) 在籍5年目 (DF (ストッパー))

成績 高校 (八頭高校) ※平成20年度卒業
 3年全日本高等学校ホッケー選手権大会 ベスト16※U-18日本代表選手選出(2007年)
 大学 (立命館大学)
 全日本学生王座決定戦 2位
 全日本学生選手権大会 3位 ※大学四年生時の成績
 社会人 (ソニーHC BRAVIA Ladies) ※2015年度
 高円宮杯ホッケー日本リーグ 優勝
 全日本社会人大会 優勝
 全日本選手権大会 優勝
 ジャパンでの結果・実績
 2014年度 チャンピオンズトロフィー (アルゼンチン共和国) 第8位
 2015年度 ワールドリーグ セミファイナル (ベルギー) 第6位
 2016年度 ホークスベイカップ (ニュージーランド) 第2位
 四ヶ国大会 (オーストラリア) 第3位

富田 千愛 (とみた ちあき) 選手

生年月日 1993年10月18日 (22歳)

出身 米子市

経歴 米子東高-明治大学-明治大学大学院在学中、社会福祉法人こうほうえん

成績 2013年 アジアカップ (埼玉) 女子軽量級ダブルスカで優勝
 " 第69回国体 (長崎がんばらんば国体) 成年女子シングルスカ準優勝
 " U23世界ボート選手権大会出場

2014年 第28回エバーハート競技大会ボート競技女子軽量級ダブルスカ優勝※スポーツ顕彰
 " U23世界ボート選手権大会女子軽量級シングルスカ銀メダル獲得

2015年 第65回日本スポーツ賞 (読売新聞社主催) 「優秀選手賞」を受賞
 " リオデジャネイロ五輪アジア・オセアニア予選女子軽量級ダブルスカ優勝 (日本出場枠獲得)

バードスタジアム国際交流基金の取崩しについて

平成28年6月16日
交 流 推 進 課
ス ポ ー ツ 課

スポーツ振興及びバードスタジアム改修のため、鳥取市から協議のあったバードスタジアム国際交流基金（公益財団法人鳥取市公園・スポーツ施設協会に設置）の取崩しについて、下記のとおり同意することとしました。

記

1 基金取崩しの内容

(1) 取崩し理由（鳥取市・（公財）鳥取市公園・スポーツ施設協会）

バードスタジアムは、県高校総体や少年サッカー大会等をはじめ、グラウンドゴルフ、結婚式場など幅広く市民に活用され、かつ国際試合のほかJリーグ公式戦（ガイナレ鳥取のホームスタジアム）が開催されるなどスポーツ振興の拠点施設となっている。（平成27年度は約52,014人が利用）平成30年には全国中学校サッカー大会の開催も予定されているが、平成7年の建築から20年が経過し老朽化が進んでいる。

このような中、今年度はバードスタジアム設立20周年を記念した国際親善試合及び女子サッカーリーグの招請を行い、次世代を担う若者達への関心を高めること及び国内外に向けたスタジアムのPRを図ることに加え、国内外利用者の利便性向上に向けた衛生施設の改修もを行い、来る東京オリパラのキャンプ地誘致に繋げるため、上記実施の財源としてバードスタジアム国際交流基金を充当したい。

(2) 取崩し内容（全体取崩し額：14,446千円）

平成28年度：バードスタジアム設立20周年記念事業（7,370千円）

（※国際親善試合（U-16）、女子サッカーリーグ招請（湯郷BELL））

：衛生施設改修（トイレの洋式化）（7,076千円）

2 県の考え方

国際親善試合や女子サッカーリーグ公式戦の開催は、サッカーに携わる青少年にとって励みとなり、将来にわたってのサッカー振興に寄与するものである。又、トイレの洋式化は、海外はもとより国内（とりわけ県民）利用者のための衛生環境の改善に資するとともに、JFA基準を満たすことで今後のスタジアムを活用したスポーツ振興にも寄与するものであるため、基金の取崩しに同意する。

【参考】バードスタジアム国際交流基金の概要

(1) 造成年月日 平成7年11月14日

(2) 造 成 額 400,000千円（現在の基金残高 113,608千円）

（内訳）鳥取県 200,000千円 鳥取市 200,000千円

(3) 基金管理主体 （公財）鳥取市公園・スポーツ施設協会

(4) 過去の取崩し状況

(H14) 63,000千円：ワールドカップ2002の「エクアドル」チームの受入れのため

(H22) 40,000千円：ガイナレ鳥取のJ2昇格に必要な財政基盤強化のため

(H23) 47,990千円：バードスタジアムの芝生張り替えのため

(H24) 128,079千円：大型映像装置、照明改修のため

(H27) 7,323千円：空調設備更新のため

※ 基金の取崩しには、知事の同意が必要

